

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ピュアライズ・ナノデス	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.538	△RG 0.035	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ピュアライズ・ナノデス

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番

比較対照ボール：アブソリューション・ビーム

フレアーの幅 インチ

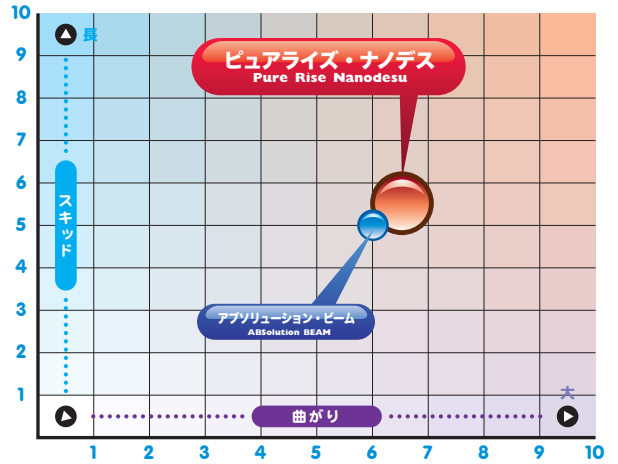
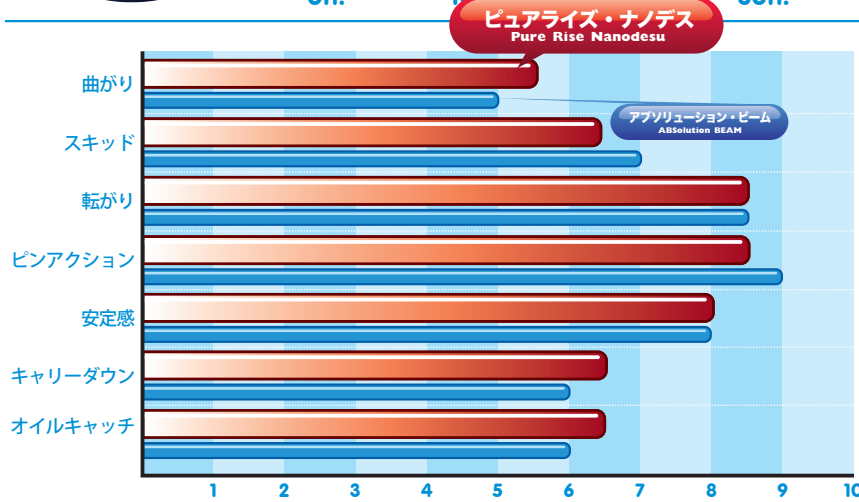
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

PBAコンディション。いわゆるアニマルパターンがリージョナル開催と共に全国的に普及し、様々なコンディションに対するオイル変化へのアジャスト能力の向上と対応するボールが必要となることもまたアジャストすることの要因の一つではないかと思ひます。今まで様々なウレタン素材のボールが世に輩出される中、ボウラーはウレタン素材のボールの性能を見極め、対応すべくコンディションにどのようにマッチングさせるかまでプロデュースしなければなりません。

国産のこのPURE RIZEは、材質をPURE Urethaneにこだわり、ウレタン素材のボールの中でも手前からピンヒットまでの持続的な動きが出せることを目的・目標として作られています。他社のウレタン素材のボールでは、ポリエステルとウレタンと混合させたものもあり、従来のウレタン使用領域でも独自性を見出すものまでありますが、このPURE RIZEはウレタン領域でも曲がり大きいウレタンボールと思って頂いて良いと思ひます。ABSが目指すウレタン領域のボールは、ウレタン素材の特異性を前面にだし、現りアクティブで不得意な領域をカバーするものであり、ウレタンであっても衝撃吸収コアシステムを採用して唯一無二のピンキャリアを視野にいれています。最近では独特なオイルのリーディングからレフティーのボウラーがウレタン素材のボールを数種類用意し、表面加工を変えながらウレタン内でも動きの差をだし使用しているのを見かけます。このような状況下でぜひこのPURE RIZEをウレタンでも上の領域で使用してください。このPURE RIZEはAccu-ROADと同じHRLAコアを採用してやや高め慣性が強めのPremium PURE Urethaneとの相性は抜群。エネルギーをロスすることなく、持続的かつ曲がり始めてからの強さが際立つ仕上がりになっています。できればコアアックスアングルはやや強めのレイアウトで思う存分パワーを感じて頂けたらと思ひます。

特記事項

久々の国産ウレタンボールの発売です。国産のウレタンボールは競技ボウラーには根強い人気があります。スポーツコンディションに相対する方は、このボールはバッグに入れておくべきでしょう。